

第2回 北九州市文化財保存活用地域計画 検討会議

日時：令和 8年 7月30日 13:30～

場所：市役所本庁舎3階 特別会議室 A

議 事 次 第

1. 開会

2. 令和8年度の業務計画について

3. 議事

（1）北九州市の歴史文化の特性について

（2）文化財の保存・活用に関する将来像について

4. 閉会

北九州市文化財保存活用地域計画検討会議構成員

*敬称略、五十音順

氏 名	所属・役職名	出欠
あらき かずのり 荒木 和憲	九州大学大学院人文科学研究院 准教授	出
いのうえ りゅうこ 井上 龍子	八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長	欠
いわさき 岩崎 ひより	北九州市Z世代課パートナー	出 (オンライン)
うちだ あきら 内田 晃 (座長)	北九州市立大学 副学長	出
こいし ふ み え 小石 富美恵	北九州市観光コンベンション協会 専務理事	出
しばた か な こ 柴田 加奈子	西日本工業大学デザイン学部 助教	出
まえぞの ひろゆき 前園 廣幸	北九州市の文化財を守る会 理事長	出
みなみ ひろし 南 博	関門海峡日本遺産協議会 会長 (北九州市立大学地域戦略研究所 教授)	出

オブザーバー

杉原 敏行 (福岡県教育庁文化財保護課参事兼課長補佐)

北九州市の歴史文化の特性(案)

交通の要衝として多様な文化が行き交い、新たな文化を生み発信してきた地域 6つの視点で読み解く

① 路（みち）

古代から続く要衝は新たな文化の発着点

本市は、響灘と周防灘の2つの海域に面し、東西交流の結節点として発展してきました。瀬戸内文化の影響を示す縄文・弥生時代の遺跡や、東西交流を担った海人集団の墓である**小田山古墳群**や**貝島古墳群**などがこうした地理的特性を示しています。さらに、源平合戦が行われた関門海峡や西洋文化を伝えた**長崎街道**、**堀川**による石炭運搬など、人・モノ・文化が活発に行き交う「路」を基軸として、本市の歴史文化は形成されてきました。

② 中世山城が語る攻防の記憶

勢力拮抗の最前線

本市は関門海峡に面し、古くから交通の要衝として発展し、戦国時代には覇権をめぐる舞台となりました。山上には交通を監視する山城が多数築かれ、地域支配や軍事拠点として機能しました。**長野城**や**大三岳城**、**小三岳城**などでは激しい攻防が繰り返されました。現在も市域に山城跡が残り、当時の歴史を伝えています。

③ 総構の城郭が描いた都市の骨格

小倉城から現代へ続くまちの礎

小倉城は、軍事拠点にとどまらず、近世城下町の中心として都市形成に大きな役割を果たしました。細川忠興は大規模な総構の城郭を築き、それはまちの骨格そのものを形づくるものでした。城下町から軍都、現代都市へと変遷しながら、常にまちの中核としての役割を担い続けてきました。現在も地域の象徴として位置付けられています。

④ 日本の成長を支えた産業都市の軌跡

日本の近代化の原動力となったまち

近代以降、本市は筑豊の石炭輸送や**官営八幡製鐵所**の操業を背景に日本有数の産業都市として発展し、その過程で形成された近代化遺産、軍都の歴史を伝える戦争遺跡など、多様な歴史文化資源を有しています。これらは戦後の建築文化にも継承され、有名建築家による建造物とともに、本市の歴史と発展の歩みを今に伝えています。

⑤ 人々の絆を結ぶ祭礼文化

受け継がれる祈りと広がる地域の輪

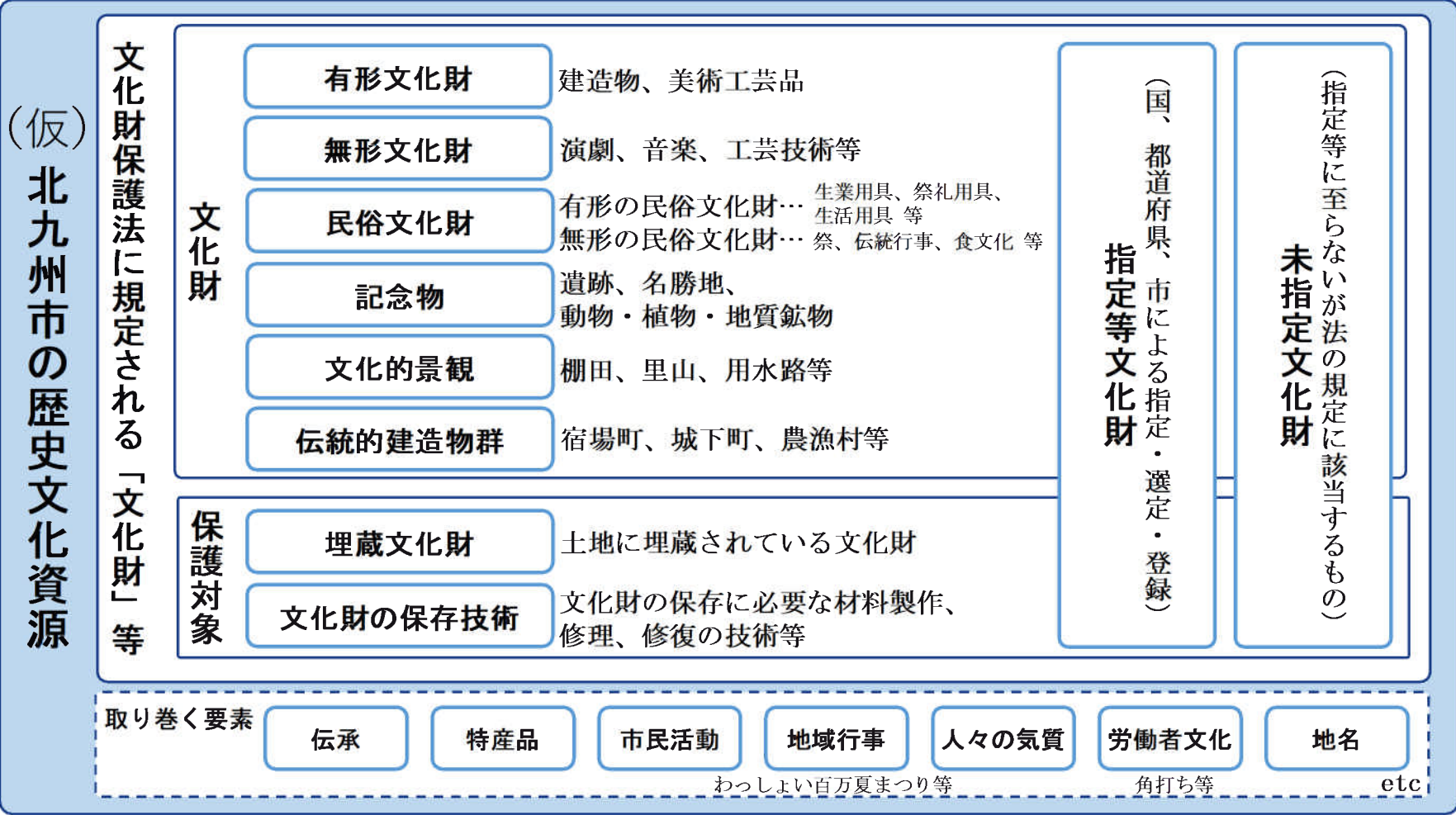
本市には、地域の歴史や風土の中で育まれてきた伝統的な祭礼である**和布刈行事**、戸畑や黒崎の祇園山笠行事、小倉の祇園太鼓、**豊前神楽**をはじめ、近年新たに創出された**わっしょい百万夏まつり**等、多彩な祭礼文化が息づいています。これらは、世代を超えた人々の交流と結びつきを育む場であるとともに、祭礼文化を通じて先人たちの祈りや願いが現代に受け継がれています。

⑥ 都市に寄り添う太古の自然

多様な地質・地形が育む豊かな自然環境

本市は都市機能と豊かな自然が共存し、古生代から新生代の多様な地層や独自の化石が見られる点が特徴です。**平尾台**はカルスト台地として知られ、野焼きにより維持される草原や、希少な生物が育まれています。**千仏鍾乳洞**をはじめ貴重な自然遺産も多く、悠久の時間が生んだ自然の魅力にあふれています。

本計画の対象(たたき台)



文化財の保存・活用に関する将来像(たたき台)

7区の個性が織りなす一つの誇り

歴史文化資源でつながる北九州



歴史文化資源を、現在と未来をつなぐ地域共有の財産と位置付け、行政・市民・団体・事業者・教育機関が協力して、守り、育んでいきます。



観光・教育・まちづくり・防災に配慮した文化財の磨き上げを行い、文化芸術推進プランの基本理念「まちに彩りを。心に豊かさを。多様な人を惹きつける文化共創都市」を支える基盤とします。



7区が有する歴史文化資源を軸に地域同士がつながり、旧市域の境界を越えた交流を育みます。そして、市民一人ひとりが歴史文化の価値を「自分ごと」として感じ、子どもたちが郷土に誇りを持てる持続可能な都市を次世代へ引き継いでいきます。



歴史文化資源の価値と魅力を広く発信するとともに、その特性を活かした効果的な活用を進めることで来訪者を惹きつけ、新たな交流とにぎわいを創出し、地域活性化に貢献します。